

小5社会科 「3つの見届ける」

単元名「自然災害を防ぐ」

単元の指導計画

単元を貫く課題 「自然災害が多い我が国で、命を守るために大切なことはなにか」				
第1時	第2時	第3時	第4時	第5時
日本の自然災害について調べ、我が国の国土は自然災害が多いという特色に気付く。	自然災害に対する国や市の取組を調べ、災害から命を守るために、砂防ダムや堤防などの施設や広報や防災ラジオなど様々な取組をしていることが分かる(第2時「国の取組」第3時「市の取組」)。		住民による防災の取組が行われている理由を考え、防災に対する意識の大切さを理解する。	学習したことを生かして、自分たちができることを考える。

第4時 「地域のみんで災害を防ぐ」

ねらい

地域で大がかりな防災訓練が行われている理由を考えるを通して、地域には災害危険箇所があることに気づき、災害を防ぐためには、地域の危険箇所や避難場所を自分で把握し、地域全体で防災意識を高めることが大切であることが理解できる。

学習活動

1. 「地域の防災訓練」の様子から学習課題をつくる。
 - ・地域のほとんどの人が参加している。
 - ・毎年、訓練をしている。

私たちが住んでいる地域で、毎年、大がかりな防災訓練を行っているのはなぜだろうか。

2. 予想を交流し、追究の見通しをもつ。
3. 資料を活用して考えをつくり、交流する。

資料例① 過去の災害(台風や地震)

資料例② ハザードマップ

資料例③ 避難場所と避難経路

【過去の災害】・同じ被害を繰り返さないため
 【地域の危険性】・地域の危険な場所を知るため
 【避難方法】・どう避難するのかを確かめるため

地域の危険箇所や避難経路を知り、安全に避難できるようにするため

4. 考えを深める(全体交流・グループ交流)。

「知るためなら、危険箇所や避難場所を示した地図を配ればいいのに住民が集まって訓練するのはなぜ？」

実際に災害が起きたとき、地域の方々と協力して避難し、互いの命を守ることができるようにするため

5. 本時のまとめをする。

○実態を見届ける(見極める)

- 既習の内容の定着を見届ける。
 - ・我が国の国土は、自然災害が多い。
 - ・国や県や市では、様々な防災の取組をしている。
- 授業のねらいを見極める。
 - 自然災害が起こりやすい我が国で、命を守るために大切なことを、自助や共助の面から考えることをねらいとする。

○学習状況を見届ける

- 導入時点での見方や考え方を見届ける。
 - ・課題についての予想を挙手により確かめ、導入の時点での一人一人の考えを見届ける。
- 個人追究での見方や考え方を見届ける。
 - ・ノートの記事から、課題に対してどの視点から考えているかを見届ける。
 - ※事実のみを書いている児童には、読み取った事実を課題につなげて考えるよう支援する。
- 交流前半で見方や考え方の広がりを見届ける。
 - ・「過去の災害」「地域の危険性」「避難方法」の関連を自分の言葉で説明できるかを見届ける。
- 交流後半で見方や考え方の深まりを見届ける。
 - ・「自分で命を守る(自助)」だけでなく、「協力して命を守る(共助)」ことまで考えを深めているかを発言などから見届ける。

○定着状況を見届ける

- 本時では、10分程度の時間を確保し、課題についてまとめさせることで定着を見届ける。
 - ・課題について、「自分で」「地域の人と」というキーワードを使って、ノートにまとめさせる。
 - ・ノートにまとめたことをペアで伝え合う場を設定し、自分の言葉で説明できるかを見届ける。
- ・地域で、毎年、大がかりな防災訓練を行っているのは、地域の危険箇所や避難場所、経路などを自分で確認し、地域の人々と協力しながら、災害に備えるためだということが分かった。